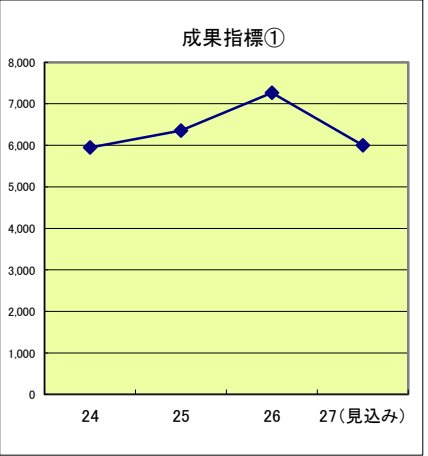
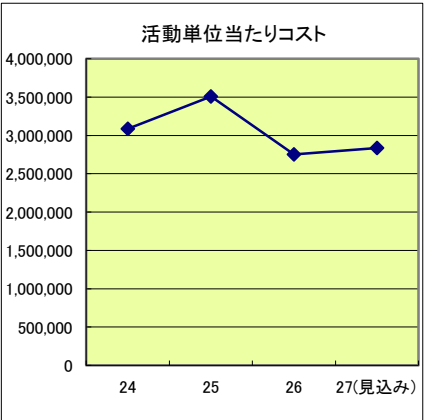


事務事業名			各種スポーツ大会開催業務	予算科目	会計	1	一般会計
					款	10	教育費
					項	6	保健体育費
					目	1	保健体育総務費
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		事業	2	体育振興
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション				
	施策の方向	(1)	スポーツ・レクリエーションの推進	作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課		
関連する計画等				(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線		
事業の概要(目的・内容)		スポーツを通じて、市民の健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図ることを目的に、母の日ファミリーバレーボール大会・ふれあいドッジボール大会・フットサル大会・市民体育祭・市民マラソン大会・グラウンドゴルフ大会を実施。また、体育協会・スポーツ推進委員・スポーツ少年団と連携し、羽曳野市民総合体育大会等のスポーツ大会や集い等も実施。事業の一部は羽曳野市施設管理公社に委託している。					
根拠法令等		スポーツ基本法					
事業期間		☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）					
事業開始時から の状況変化		各種事業の見直し等を図り、関係団体と連携を図っている。平成27年度の市民体育祭は(仮称)中央スポーツ公園にて開催する予定。					
実施手法		☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市施設管理公社)			委託内容	各種スポーツ大会に係る業務	
		☐ 民間委託 ☐ その他					

区 分		24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込み)	
事業費【1】 (千円)		11,027	10,583	11,165	11,500	
人件費【2】 (千円)		4,407	6,960	2,599	2,683	
職員数	正規職員	0.53 人	0.90 人	0.30 人	0.30 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	0.30 人	0.30 人	0.20 人	0.20 人	
	臨時職員・非常勤職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間	
総事業費 (【1】+【2】) 【A】 (千円)		15,434	17,543	13,764	14,183	
財源内訳	国庫支出金 (千円)	0	0	0	0	
	府支出金 (千円)	0	0	0	0	
	市債 (千円)	0	0	0	0	
	その他 (使用料・手数料等) (千円)	126	192	250	250	
	一般財源 【B】 (千円)	15,308	17,351	13,514	13,933	
活 動 指 標 【C】		24年度	25年度	26年度	27年度	
(事業の活動実績) 単位					(見込み)	
① 大会の回数	回	5	5	5	5	
②						
活動単位当たりコスト (【A】÷【C】①)		3,086,800 円	3,508,600 円	2,752,700 円	2,836,520 円	
活動単位当たり一般財源額 (【B】÷【C】①)		3,061,600 円	3,470,200 円	2,702,700 円	2,786,520 円	
市民1人当たりコスト (【A】÷人口)		132 円	151 円	119 円	124 円	
一般財源【B】の推移 (前年度比)			13.3 %	▲ 22.1 %	3.1 %	
※前年度比5%以上変動している要因 (該当する場合のみ✓) ※該当項目すべてに✓		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど				☐ 2. 左記
		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動				☐ 4. 国庫
		☐ 5. その他(				



成果指標 (事業の達成度 を測る指標)	指標名		単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	① 全大会の参加者数 (式又は説明)	目標	人	目標	6,000	6,000	6,000	達成率(%)
				実績	5,949	6,355	7,266	121.1%
	② 市民体育祭の参加者数 (式又は説明)	目標	人	目標	4,000	4,500	5,000	達成率(%)
				実績	4,553	4,972	5,620	112.4%

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○				○	○			

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	体育協会・スポーツ推進委員・スポーツ少年団等の社会体育関係団体を中心に協力・連携し実施している。長年継続している事業もあり、市民の認知度の高く市民の健康増進に必要な事業となっている。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	事業によっては参加費を徴収し行い、各種団体と協力し効率よく実施している。平成27年度も協賛企業等を募集し、参加者が楽しめる事業展開を図っていく。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☐	☒	☐	
	協働性	民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	実行委員会形式や各種連盟と連携協力して行っている事業もあり、市民の声を反映し、参加を募っている。
		事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	達成している。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	向上している。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など) 平成27年度は市民体育祭のプログラム・軽トラ市の食のブースの出店・ゲンゼスポーツ、羽曳野市柔整師会の協賛等頂き、より多くの市民の方々に楽しんでいただきたい。また、平成28年度は会場を(仮称)中央スポーツ公園に移し、より事業の充実を図る。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	